

## 【白岡市】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

GIGAスクール構想に基づき、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実や、1人1台端末を活用して個別最適化した学びの充実など基礎・基本の確実な定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを充実し、課題発見・解決能力を育成していく。

#### 2. GIGA第1期の総括

令和2年度にタブレット端末を整備し、令和3年度当初から児童生徒全員がタブレット端末を利用できる環境を整備した。

当市では、無償の学習アプリが非常に豊富であり、先生が様々な学習場面に適したアプリを選択することが可能なこと、また、故障率が低く、耐久性の高いことから、iPadを導入するとともに、児童生徒及び教員に教育用Googleアカウントを配布し、主体的・対話的で深い学びを実現させた。

しかしながら、通信状況が悪い教室があることから、第2期に向け、ネットワークアクセスメントを実施し、その結果を踏まえ通信状況を改善させる必要がある。

また、教職員のタブレット端末の活用スキルに差があるため、引き続き教職員に対する研修を充実させる必要がある。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

第2期に向け、令和7年度中に新たなタブレット端末（引き続きiPad）を整備し、令和8年4月からタブレット端末の利用を開始していく。第1期では、持ち帰りの際にランドセルやカバンの中で他の荷物に圧迫されて破損・故障することが多くあったことから、iPadのカバーを強固なものにすることで破損・故障を少なくし、予備機を充実させることで、誰一人取り残さないよう児童生徒の学びを止めることのないよう努めていく。

また、家庭への持ち帰りを完全実施することで家庭学習を促進し、主体的・対話的で深い学びを実現し、個別最適・協働的な学びの充実を図っていく。

さらに、コロナ化では実施していたオンライン授業について、不登校児童生徒や出席停止期間中の児童生徒に対するオンライン授業を実施するとともに、学習支援アプリを有効的に活用した学習支援を行うなど、児童生徒に対する学びの保障を充実していく。